

見つかったと報道されたが、その原因は何か。

また、独居老人等の安否確認について、民生委員の立場で、どこまで個別対応が可能なのか。更に同委員の権限の強化はできないのか伺う。

**高薄町長**

本来、住民票の異動や戸籍削除の手続きは、本人や家族の申請によって行われるものであるが、戦後の混乱期等にその手続きがされていなかったことが原因と考えられる。今後は法務局と協議を行い、戸籍の消除をしていきたい。

民生委員による独居老人の安否確認は、個人情報等で深く入っていないケースがあるため、同委員の権限強化については、国に強く要望していく。

なお、独居老人・高齢者世帯等を対象に世帯情報調査を実施しており、その調査結果を災害時の避難マップ作成や福祉政策に活用していきたいと考えている。

**これからの高齢者対策は**

**妻島公一議員**

平成22年2月に本町の65歳以上の人口は30%を超え、今後も高齢者の増は人口動態からみても明らかである。

特に、高齢者の独居世帯、2人世帯が年々増加しており、今後、高齢者が安心して住み続けられるまちづくりが求められる。

高齢者福祉対策及び各種ボランティア活動について伺う。

**高薄町長**

高齢者世帯等が増えているなか、しっかりと福祉対策を実施していくが、そのほかに地域力をいかに、近所で助け合い運動をしていくようなまちづくりを進めていきたい。

また、高齢者の活動する場を広げる方策として、老人クラブを数町内会で地区ごとに結成して加入率

を上げたり、町内に高齢者が集まれるサロンのな施設を増やしていかなければならない。

ボランティア活動は、今後、有償ボランティアが主流になると予想されるため、人材養成を行っていききたい。また、認知症サポートの育成にも取り組むたいと考えている。



**地域活動とまちづくり**

**妻島公一議員**

町長は、これからのまちづくりは、町民との協働でつくりあげていこうと考えているようにあり、私も大切だと思っている。それには、町民一人ひとりが、この町に住んでよかったと思えるまちづく

りと、町民一人ひとりが地域活動に参加し、住みやすい町にしようとする気持ちを結びつけなければならぬ。町民の活動をどう支援していくのか伺う。

**高薄町長**

行政が主体となっても、効果は薄いと思われる。町民が課題解決に向けて、力を発揮できるような体制をつくりあげることが必要であり、また、町内の各団体等で、町民が積極的に関わられるような事業を考えてもらえるように協議を行っていきたい。

あくまでも町民や地域が主体であり、町としては側面から活動の支援をしたいと考えている。

**掲載以外の一般質問**

- 原 紀夫 議員  
・来年度予算編成の事業仕分け
- 口田邦男 議員  
・医療、介護の将来の見通しは

**請願・陳情の審査**

件名	提出者	審査委員会	結果
新得警察署熊牛駐在所の存続を求める請願について	町民6名	産業厚生常任委員会	採択
「清水町内に国際パークゴルフ協会の公認コースの設置を求める要望意見書」の提出に関する陳情について	町民1名	総務文教常任委員会	継続審査

**意見書の提出**

請願等のあった次の意見書は、第6回定例会において審議の結果、可決され、議会はこれを関係行政庁に提出しました。

- 道路の整備に関する意見書
- 新得警察署熊牛駐在所の存続を求める意見書

**閉会中の委員会活動**

**総務文教常任委員会**  
冬季スポーツの振興について  
その他所管に関する事項について

**産業厚生常任委員会**  
介護保険施設について  
地域包括支援センターの取り組みについて  
その他所管に関する事項について

**議会運営委員会**  
議会の運営とその諸規定について  
議長の諮問に関する事項について